


「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人 名	細見 純子 先生（異文化交流の達人）
実施 校	長久手町立北小学校
実施 日	平成20年9月17日（水曜日）
実施 学級	6年1・2・3組（118人）
授業の実際	<div style="text-align: center;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 担当者が、達人を紹介する。 2 達人から「一椀からピースフルネスを」の歴史の話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・お茶の種類や、飲み方 ・お茶の原産地クイズ、伝来歴史クイズ、お茶を表す世界の言葉 ・日本でのお茶の変遷 ・室町、戦国歴史クイズ ・「和・敬・清・寂」の理念、利休七則 3 お茶の作法の説明を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・茶道具の名前、扱い方、作法 4 お茶を点てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・亭主、お客、お運びの3役に分かれて、ローテーションで実習 5 まとめをする。 6 振り返りカードを書く。
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ お茶をたてるには、相手においしいお茶を飲んでほしいという思いが大切だ。 ・ お茶はたくさんの世界とつながっているんだなあ。 ・ いつもはペットボトルのお茶を飲んでいるけど、これが本当のお茶の味だ。 ・ 今度はお茶室でもお茶をたててみたい。 ・ お茶の歴史を知り、何にでも歴史があることに感心した。 ・ 茶筌のチャカチャカという音にいやされた。 ・ お茶の文化はすばらしい。 ・ 抹茶は苦いと思っていたが、本当は苦くないしおいしいと気づいた。 ・ とても楽しくできたので、またやってみたい。
教師の感想	<p>今回の流れで良かった。歴史学習の復習クイズのような話で、子どもたちも話を集中して聞くことができた。全員の児童が、お客も亭主の立場も経験でき、もてなす側ともてなしを受ける側を経験できてよかった。</p>